

令和5年度 読書推進フォーラム

**のぞいてみよう、本の世界！**

**～最近、本に出会ってますか？～**

報告書



## 概要

### 令和5年度 読書推進フォーラム（紀南会場）

#### 1 テーマ

「のぞいてみよう、本の世界！ ～最近、本に出会ってますか？～」

#### 2 趣旨

参加者が読書による世界観の広がりや新しい出会いの良さを確かめ合うとともに、その効果の発信者となるきっかけづくりとして本フォーラムを実施する。

#### 3 主催

和歌山県教育委員会

#### 4 対象

本や読書に少しでも興味のある方

#### 5 日時及び会場

日時 令和5年10月15日（日）13：30～16：30

会場 日高川交流センター

〒644-1122 日高郡日高川町高津尾 718-3（TEL：0738-24-9333）

#### 6 参加者数 113名

#### 7 日程

(1) オープニング 「手作り紙芝居・絵本の読み聞かせ」  
出演 和歌山県立日高高等学校 JRC

(2) 講演 「作者と訪ねる作品の世界」  
講師 児童文学作家 くすのき しげのり さん

(3) シンポジウム 「思い出の1ページ ～本でつながった出会い、本で広がった世界～」  
コーディネーター 和歌山放送ラジオパーソナリティ 松原 燈 さん  
シンポジスト 御坊市立図書館司書 後藤 貴志 さん  
串本町潮岬かんりん文庫 梅崎 百合子 さん  
和歌山県立日高高校 JRC 小出 真矢 さん  
コメンテーター 児童文学作家 くすのき しげのり さん

13:00	13:30	:50	14:00	15:00	:15	16:15	:30
受付	オープニング	開会	講演	休憩	シンポジウム	閉会	

## オープニング

# 「手づくり紙芝居・絵本の読み聞かせ」

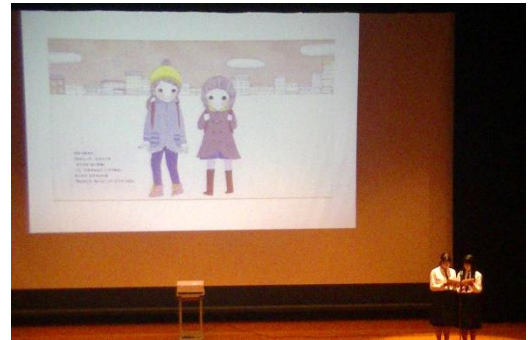
和歌山県立日高高等学校 JRC



『ええところ』 (Gakken)

作：くすのき しげのり

絵：ふるしょう ようこ



『はしれ、ゴールのむこうまで!』 (講談社)

作：くすのき しげのり

絵：稲葉 卓也



『ゆめのたび 新たな出発』

脚本・絵：日高高校 JRC部 Team ARIEL



## 開会あいさつ

和歌山県教育庁紀南教育事務所 所長 梅村 尚史

まずは日高高等学校 JRC の皆さん、素敵な紙芝居と絵本の読み聞かせをありがとうございました。大きな舞台で緊張されたと思いますが、素敵なオープニングでした。皆様に本の世界に入っていたくことができたのではないのでしょうか。



さて、本日のフォーラムのポスターやチラシには、「のぞいてみよう本の世界」と大きくプリントされており、その下に「最近、本に出会ってますか…?」というメッセージが添えられています。皆さん、お気づきになりましたでしょうか?そして、最近、本に出会われていますか?

毎年4月に実施している全国学力・学習状況調査では、国語や算数・数学、理科の調査と合わせて、子供たちの生活の様子などについて尋ねる質問紙調査も行っています。約60個ある質問の中の一つに、『昼休みや放課後、学校が休みの日に、学校の図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか』と、子供達に尋ねている項目があります。令和5年度はその質問に対して、「ほとんど、または、全く行かない」と答えている割合が、県内の小学生では約37%、同じく中学生では約60%でした。

また、総務省が行っている社会生活基本調査において、睡眠時間や仕事時間など、様々な都道府県別ランキングが公表されているのですが、「読書大好き!ランキング」では、和歌山県は43位という結果でした。この二つの調査から、私たち大人も含めて、本に出会う機会が減っていることが伺えます。そこで、和歌山県では読書に親しむ習慣づくりを目的とした事業を展開しており、本日のフォーラムもその一つとして実施しています。

お手元のプログラムにもありますように、本日は児童文学作家の くすのきしげのり先生に「作者と訪ねる作品の世界」と題してご講演いただきます。

後半には、くすのき先生に加えて、紀南エリアで読書に関わる活動をしていらっしゃる方々にご登壇いただき、シンポジウムを行います。出演者の皆さんがどういった本の世界に出会われてきたのか、あるいは、どのような本の世界を旅されてきたのかについて、お話しいただくことをとおして、本日ご参加の皆様にもぜひ「読書をお薦めする側」の発信者となって、本との出会いを広げるきっかけづくりにご協力いただければ幸いです。

結びに、本日の開催にあたりご支援、ご協力をくださりました関係者の皆様にご心からお礼を申し上げ、開会のご挨拶といたします。

## 講演

# 「作者と訪ねる作品の世界」

児童文学作家 くすのきしげのり さん

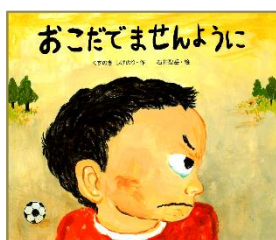
### 【いい作品（物語る力のある作品）を読むことは、心の窓を開くこと】

- 「心の窓を開く」とは？
  - ・ 読み手の「読み取る力」や「経験値」は「視点の高さ」
  - ・ 読み手の感情や興味関心は「立ち位置」→窓の向こうの様々なものを読み取り、感じ取るために必要  
同じ本を読んでも得られるものが読み手によって変わる
- いい作品には「想像する力」「共感する力」がある
  - ・ 読者の力を発揮させ、心の窓を開くことができる→「物語る力のある作品」であり、文学における芸術性
- 絵本では、文章だけでなく「絵が物語る」
  - ・ ものの見方、とらえ方、考え方が自由であるように
  - ・ 作品に合った画家に絵を依頼→登場人物の日常、日常の中での揺れ動く心を描いてもらう
- 読書を楽しむこと＝心の窓を開くこと⇒人生を豊かにすること
  - ・ まずは自由に作品を楽しんで
  - ・ 大人が意図的に環境を整えて→図書館の活用を！  
図書館の力＝司書の力



### 【作品を貫く「一人ひとりが みんな大切」】

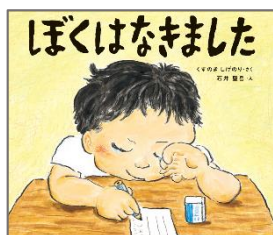
- 誰もが一人ひとり大切な存在
  - ・ 一人ひとりが輝きながら生きることを願った作品たち



『おこだでませんように』（小学館）  
作：くすのき しげのり  
絵：石井 聖岳

- バリアフリー絵本への選出
  - ・ バリアは思い込みや偏見、先入観など、心の中のもの

- 「わかっているつもり」で「わかっていない」こと
  - ・ 「相手の心の動き、考えはわかっているつもりでも、実はわかっていない」ということを、わかっていなければいけない
  - ・ 子供だけでなく、大人が相手でも同じ
- 「想像する力」「共感する力」の大切さ
  - ・ 文章を読み解く力と画面を読み解く力



『ぼくはなきました』（東洋館出版社）

作：くすのき しげのり

絵：石井 聖岳

- コミュニケーション力とは「思いや考えを伝える力」に加えて…
  - ・ 相手の心を察する力
  - ・ 相手を慮る力、推し量る力、思いやる力
 → 「想像する力」「共感する力」が必須



『あっ！みつけたっ！！』（光村教育図書）

作：くすのき しげのり

絵：大島 妙子



『ふくびき』（小学館）

作：くすのき しげのり

絵：狩野 富貴子

- 大人にこそ、「想像する力」「共感する力」を
  - ・ 「人を信じられる」というぬくもり
  - ・ 大人は子供のための環境をつくと同時に、「大人自身が大切な環境」
 → 子供たちにどんな背中を見せるのか
- 子供たちに伝えるべきこと
  - ・ 「生きる力」
 → 自らの力で、よりよく生きる力
  - ・ 一人ひとりが輝きながら生きる
 → 今日という一日を、自分の人生を、自分の意志で大切に生きる

## シンポジウム

### 「思い出の1ページ

#### ～本でつながった出会い、本で広がった世界～

ファシリテーター 松原 燈 さん  
登壇者 後藤 貴志 さん  
梅崎 百合子 さん  
小出 真友 さん  
コメンテーター くすのきしげのりさん

#### (1) 自己紹介と取組紹介



##### 【松原さん】

- 和歌山放送ラジオパーソナリティ
- くすのきさんの話に圧倒された

##### 【後藤さん】

- 御坊市立図書館司書
- 「図書館に住みたい」からの図書館司書
  - ・縁のなかった御坊市での就職
- 図書館でできるさまざまな企画への挑戦
  - ・リアル謎解きゲーム風 図書館見学
  - 図書館が「すごい施設だ」ということを知ってもらいたい
  - ・中学生を講師にした「恐竜講座」
  - 講座の内容だけでなく、講師への憧れや住民のつながりをつくることができた
- 図書館の力＝司書の力
  - ・限られた予算の中でできることを



##### 【梅崎さん】

- 串本町潮岬「かんりん文庫」代表
- 祖父の始めた書店の名前を引き継いだ場所
  - ・Uターンをきっかけに、町内の協力を得て運営
  - ・祖父と町民とのつながりが生きている
- 地域の本屋がなくなり、図書館に行くにも少し遠い



- 「本を読みたい」「読んでもらいたい」を実現できる場所
  - ・ 公民館施設を使うことによる「ついで」使い
  - ・ 世代を越えたつながりの場

### 【小出さん】

- 県立日高高校 JRC 部
  - ・ ボランティアクラブとして、地域清掃をはじめとした地域貢献活動を実施
  - ・ 依頼を受けて活動の中、読み聞かせも実施
  - ・ 部員 13 人
- 読み聞かせ活動と紙芝居制作
  - ・ 先輩が創った作品の続編として制作したものを本日紹介
  - ・ 笑顔で聞いてくれる客席を見ると「やってよかった」と思う
 →制作をとおして、知らなかった地域の情報を知ることができた



### 【くすのきさん】

- 図書館に人を集める難しさ
  - ・ 生活の中にある図書館をめざしたい
  - ・ イベント開催と騒がしさなどの環境整備の兼ね合い
- 図書館や本のある場所が文化のバロメーター
  - ・ 「どんな場所にしたいか」を考えた運営
  - ・ コミュニティの場としての役割
- 地元を題材にする良さと、活動の良さ
  - ・ 「知ること」と「伝えること」
  - ・ 高校生への憧れを育てる
  - ・ 制作活動をとおして作品づくりの面白さに気づく

## (2) 講演の感想

### 【後藤さん】

- 司書にとっての「想像する力」「共感する力」
  - ・ 読書感想文の本を探しに来た親子との経験から
 →子供自身の思いを聞き取る大切さ

### 【梅崎さん】

- 本を読むことで得られる「想像する力」「共感する力」
  - ・ 同じ本を読んだ人との共感、作者との共感



### **(3) くすのきさんへの質問と回答**

Q：作品内で登場人物がつながっていくということだが、まったく新しい人物が生まれることはないのか。

A：かき進めるうちに新しいキャラクターがどんどん登場してくる。それが次の主人公になったりする。

Q：漫画と絵本の違いをどう考えるか？

A：漫画は対象年齢を考えた作品がある。絵本をつくるときはまず子供に向けてかくことを考えている。漫画での画面の使い方は、絵本にない独自の良さがある。どちらが良いということではないが、それぞれの表現の良さを発揮した作品がある。

Q：読み聞かせのポイントはあるか？

A：「感情を込めないほうが良い」という人と、「感情を込めて演じるように読む」という人がいる。個人としては、「読みたいように読む」が大切だと思う。そして何より、読み聞かせを受けた相手が「本を読んでもくれた大人がいた」と記憶に残すことが最も重要だと考えている。どれだけ下手であっても、一緒に過ごした時間が大切である。唯一のポイントとしては、行間の大きさに合わせて「ゆっくり読む」ことに尽きる。

Q：ことわざや慣用句でも、時代に合わせて表現が変わってきている。どのようなことに気をつけているのか？

A：ジェンダーや祖父母の描き方などは、時代に合わせて変えていくが、普遍的なものは変えてはいけないと考えている。校正のプロの指摘を受けながら、変えることもある。

### **(4) 「本好き」を育てるために**

#### **【後藤さん】**

- 一度図書館に来てみてほしい
  - ・図書館での出会いが何かのきっかけに
  - ・司書との出会いがきっかけになることも

#### **【梅崎さん】**

- 学校の図書館も活用できる
  - ・小学校時代の学校司書との出会いが今につながっている
  - ・まわりの大人との本をとおした会話

## 【小出さん】

- 映像作品から本への発展
  - ・ 本に触れるきっかけはたくさんある
  - ・ 原作との違いを考える面白さもある



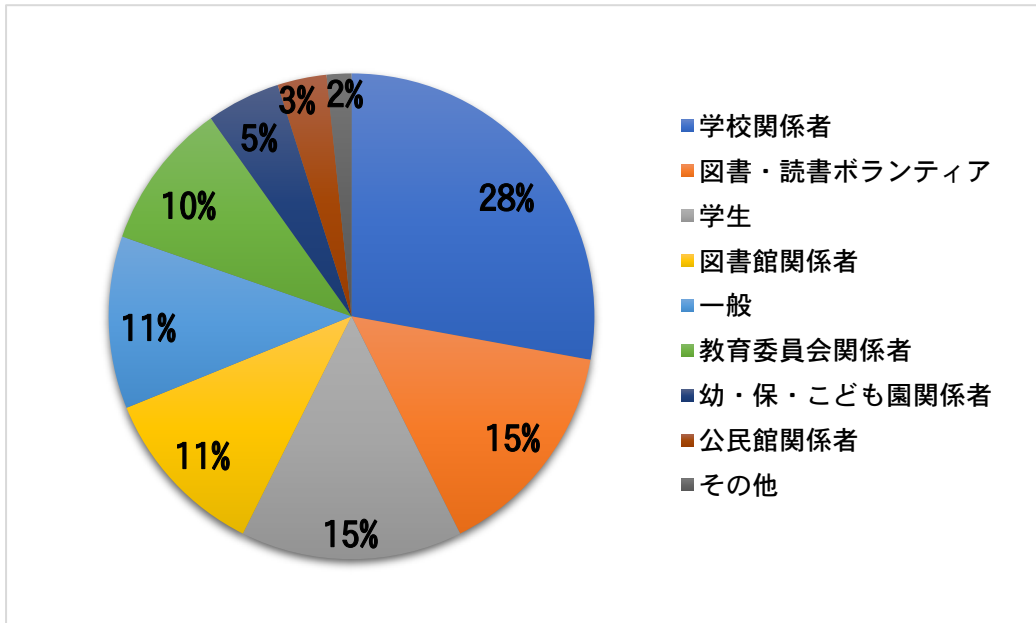
## 【くすのきさん】

- 「図書館に行く」は究極の行政サービス
    - ・ 図書館同士のネットワークの活用
  - 「本を好きになる」ために
    - ・ 大人と一緒に本のある場所へ
  - インターネットでわかることと、本の信頼性
    - ・ 一次資料としての価値は続く
  - アインシュタインの言葉
    - ・ 「その街で初めに知っておくべきことは、図書館の場所である」
- 人生において活用できる場所

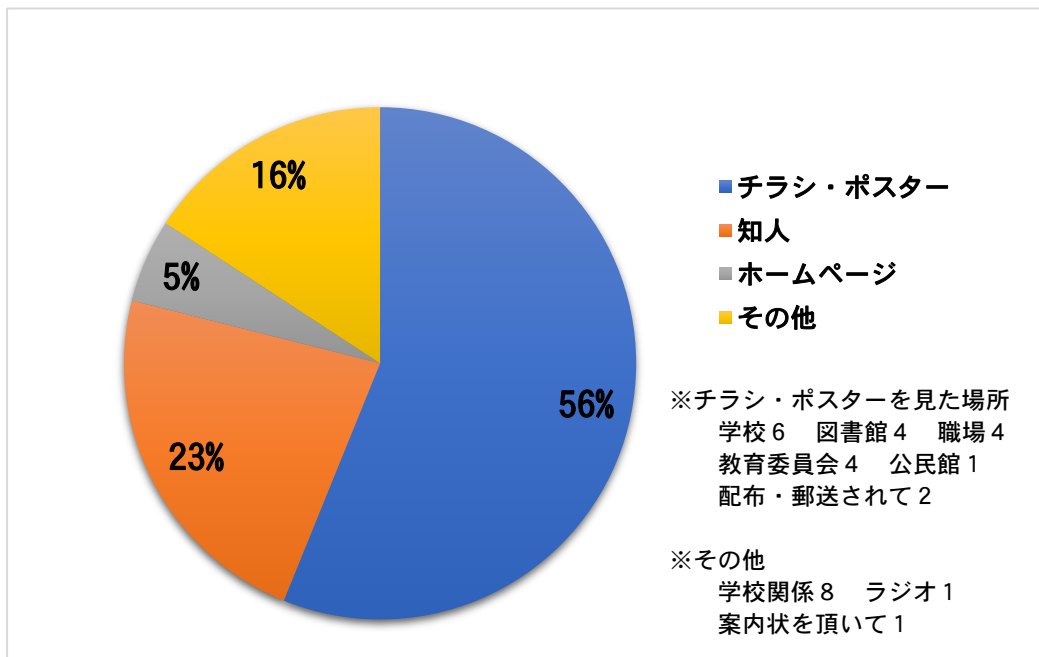


# アンケート集計

## 1 本日のフォーラムにはどのような立場で参加されましたか。

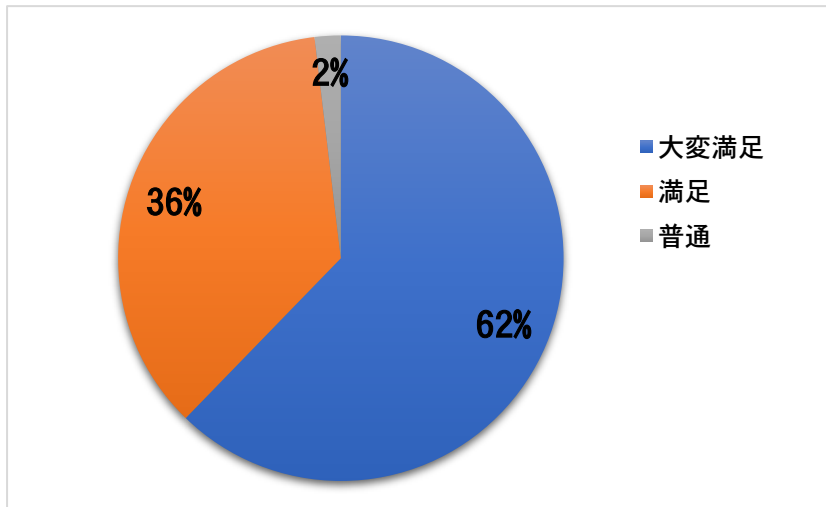


## 2 本日のフォーラムをどのようにして知りましたか。



### 3 本日のフォーラムの感想をお聞かせください。

#### ①オープニング



#### 【感想】

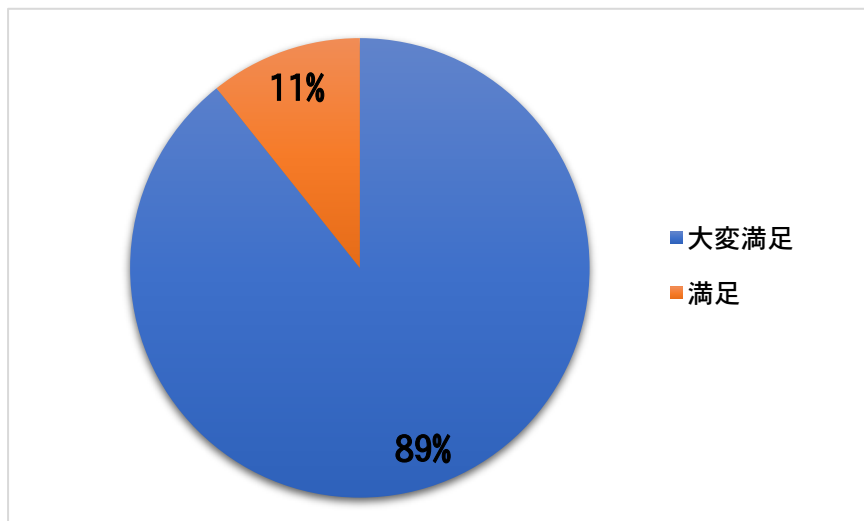
- ・大変落ちついて、わかりやすい発表でした。練習を積み重ねた成果であったのではないかと思います。
- ・手作り紙芝居が楽しかったです。続編も作ってほしいです。
- ・若い高校生も読み聞かせ活動をしているんですね。
- ・高校生の皆さんの読み聞かせで作品がとても新鮮に感じられました。いろんな所で活躍されているのだと思います。
- ・丁寧に読んでくれました。きっと複数で読むために練習を重ねてくれたのだと思います。ありがとうございます。本の世界へずっと入っていけました。
- ・手作り紙芝居とても良かったです。
- ・日高高校の生徒の皆さんのオリジナル作品紙芝居が地域をよく表現していてとても良かったです。JRCの皆さんありがとうございました。
- ・大きなスクリーンに写し出された絵はとても見やすかったです。絵本の読み聞かせはページをめくるところ込みで楽しみたいと感じました。きっと普段はそうしているんだろうなと思いつつの感想です。
- ・県立日高高校 JRC の皆さんありがとうございました。3作品ともいい作品でした。
- ・本の選出がすばらしいと思いました。オープニングにふさわしい優しい言葉、温かい雰囲気でしたね。読み手の皆さんとても良かったです。
- ・高校生の活躍すばらしいでした。
- ・日高高校の皆さんの活動を知ることができました。すばらしい取組ですね。
- ・紙芝居が素朴でよかった
- ・一生懸命読んでいる姿が良い、ほほえましい。
- ・オープニングの構成と意図はとてもよかったと思います。次は開会の主催者挨拶を司会進行の中に入れてしまっはどうでしょうか。今回の挨拶はとてもフランクで好印象をもちました。さらに、その上で流れを止めないように主催者挨拶の在り方を検討されればと思いました。
- ・いきなりの朗読とオリジナル紙芝居の演出良かったです。
- ・創作紙芝居、和歌山を題材にしたものをまだまだ創ってほしいです。
- ・現役の高校生の読み聞かせ良かったです。オープニングで高校生良かったです。
- ・手作り紙芝居で地域のごことがよくわかり楽しく聞くことができました。とても良かったです。
- ・自作の紙芝居、良かったです。読み聞かせも大人、作者の前で緊張したと思いますが堂々と読めていたと思います。

- ・フレッシュで良かったです。
- ・日高高校 JRC の手作り紙芝居が良かったです。
- ・高校にこのような活動をしている部活があることを始めて知りました。今後の活動に期待しています。
- ・挨拶からではなく、本の世界からはじまるのがとても良かったです。日高高校の子たちもがんばってくれていて良かったです。
- ・オリジナルの紙芝居が、和歌山県ネタが多くて面白かった。また、くすのき先生の絵本も読んでくださって講演を聞く良い準備になりました。
- ・JRC のみなさんの語りがとても素晴らしく、物語の世界へと引き込まれました。特に手作りの紙芝居が面白かったです。
- ・高校生達の上手で心のこもった読み聞かせや紙芝居を聞いて、日頃から熱心に活動されていること、またオリジナルのお話で地元愛を感じ嬉しく思いました。
- ・手作り紙芝居が良かったです。紀南地方の事が楽しく伝わってきましたし、それを生徒のみなさんがやっているのが良かったです。
- ・聞き取りやすく、また、間を取りながらの紙芝居、読み聞かせ、大変良かったです。
- ・高校生の懸命で清々しい読み聞かせに心がはずみました。自分たちで作られた紙芝居もよくできていて感心しました。地域のことをあのようにまとめ伝えてもらうことでふるさとを好きになる子供が増えると思います。ネバーエンディングストーリーの曲で始まるのも◎（はなまる）でした。
- ・七夕が近づくと「おこだでませんように」を読み聞かせに使っています。
- ・学生さんたちの読み聞かせに気持ちがかもってて良かったです。
- ・高校生の読み聞かせに元気をいただきました。
- ・普段ボランティアをされている高校生が大きなホールで堂々と朗読をしていて素晴らしいと思いました。
- ・すばらしい発表をありがとうございました。今後も、いろいろな活動に頑張ってください。
- ・温かくて優しい気持ちになりました。ありがとうございました。
- ・オープニングから始まり、とても入りやすかったです！
- ・今日に向け、一生懸命練習に取り組んできたことが伝わってきました。
- ・日高高校の生徒たちの、素直で誠実な読み語りがかしみじみと良かったです。紙芝居も面白かったです！
- ・高校生の頑張りは良かった！ 始めに手書き紙芝居をしてもらって、ようこそ!! みたいな演出だったらいいのと思った。素敵なお地域をもっと自慢して欲しいです。良い所へ行けて楽しい思い出になりました。
- ・高校生が頑張っていて、好感がもてた。
- ・高校生が大舞台上で堂々と発表してくれました。
- ・気持ちが講演に入りやすいオープンの工夫をされており、とても良かったです。

### 【日高高校 JRC】

- ・緊張したが、やり切ることができた。
- ・練習しっかりしてきたおかげで楽しんでできました。
- ・練習の成果を発揮することができました！とても楽しかったです。
- ・みんな緊張しているところを見せずに読めていたのすごかったです。
- ・日高高校の生徒として参加させていただいて良い経験になりました。
- ・読むスピードや声の大きさに気がつけました。あまりこういう機会は無いと思うので良い経験になりました。
- ・今回、絵本の読み聞かせをさせていいただきました。すごく緊張したけど、練習どおり楽しく読めたので良かったです。
- ・日高高校の生徒です。今回絵本の読み聞かせをさせていいただきました。とても緊張しましたが、練習どおりに楽しくできたのでとてもほっとしています。

## ② 講演



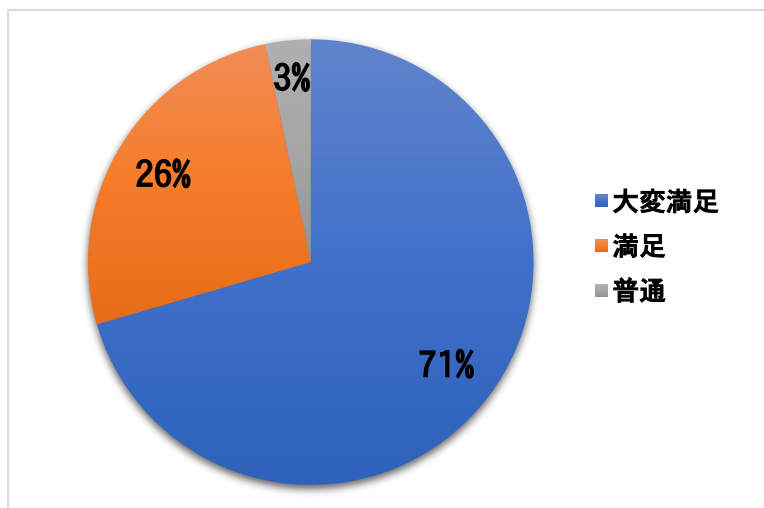
### 【感想】

- ・本を読んでもらうのは、とても心地よいものでした。ありがとうございます。絵を読む事の楽しさを少し忘れていました。
- ・絵の中の細かい部分を読み取ることが想像する力、共感する力につながるということを学びました。
- ・先生のあたたかい人間性を感じられて良かったです。
- ・くすのき先生のお話は愛情を感じました。
- ・貴重なお話を聴けて本当に良かったです。いい本と出会えるよう、図書館にも足を運ぼうと思います。
- ・作者ならではの作品の背景などエピソードを知ることができて良かったです。久しぶりに読み聞かせをしてもらってほっとする時間でした。子供の言動に家族の姿、想像する力を大事にしたいです。本を読んでもらえるのは「ええもんや」ですね。本を近くに置いておく環境を大事にしたいですね。
- ・中学生に聞いてもらう機会があればいいなと思いました。
- ・とても心に響き感動しました。絵本を読んでもらうのは大人になってもいいものでした。
- ・くすのきしげのりさんの作品への想いが深く伝わってきました。読み聞かせをするとき気をつけたいことがたくさんありました。先生ありがとうございました。
- ・いろんな所でつながりがあるのでそれをたどって読みつなげる楽しみもあるのだと再認識しました。
- ・絵本を通して伝えたいことを作者ご本人から聴けて非常に良かったです。くすのきしげのりさんの想い、すごく伝わりました。ありがとうございました。
- ・本に相関関係があるっー！そんなことを考えて本を読んだことはありませんでした。くすのき先生作品ならではのですね。文章はやさしい表現で、そしてやさしい語り口調、引き込まれそうでした。
- ・本を読んでもらうのはええもんやなあ、と心から思えた時間でした。このような時間を共有できる大人でありたいと思います。作者の方から絵の中にちりばめられた意図を語っていただくことで、もう一度読み直したいと改めて思いました。
- ・各作品に隠された人間関係や伏線、作者でなければ知りえない裏話など興味深かったです。
- ・絵から想像する力、共感する力を育むということ。絵本の絵の力は大きいですね。
- ・「あるべきぬくもり」の力は今の世の中に結構強いのだと思いました。
- ・くすのき作品初級の私です。作品の登場人物がつながっているなんてびっくり！読む楽しみが増えました。絵本に限らず読書は楽しいです。
- ・大人の役割、人を思いやる心、想像する心・・・大切なことを教えていただきました。感動しました。

- ・くすのき先生の温かい人柄が物語にもあらわれていて良かったです。「想像する力」「共感する力」を広げていけるように自分のできることを探します！
- ・素晴らしい講演でしたので時間があっという間でした。今回のこの機会に、もっと近くの方々、保育士の方々も出席して下さったら良かったですね。
- ・動画を読み解く力、改めて絵本の楽しみ方がわかりました。
- ・くすのきしげのりさんの本を2冊持っていますが登場人物のつながりがあることを知り驚きました。作品に温かみを感じるのは、くすのきさんの人柄が、思いが、あるからだと思いました。
- ・作者本人の読み聞かせは感動しました。絵本に書いていない絵から読み取ることが分りました。
- ・人物の相関図を知って楽しさが広がりました。先生の読み聞かせにくぎづけになり、感動しました。
- ・講演時間があっという間に過ぎたように感じました。お話を聞いてもう一度読み返してみたいと思ったり、初めて知って「読んでみたい」と思ったりしました。相関図を片手に、いろいろ読んでみたいです。
- ・くすのき先生のお話がとても心に響きました。絵本の奥の話までできてとても良かったです。子供に読んであげたいと思いました。
- ・作者の方に読み聞かせをしていただけるという貴重な体験ができました。元々、くすのき先生の絵本が大好きなので、細かい設定を知ることができて大変満足です。
- ・絵本を読んでいただいて嬉しかった。物語の世界に入り込んで涙が出た。ありがとうございました。
- ・くすのきしげのりさんがどういう風に絵本を作っているのか知れた。また、絵本を読むということがどうしたことなのかがよくわかった。
- ・くすのき先生の作品は好きで小学校の読み聞かせボランティアでもよく読ませていただきました。今日のお話を聞いて益々先生のお人柄に魅力を感じましたし作品の深さを知ることができて良かったです。
- ・先生が作品と向き合う姿勢やそこに込められた思いを知ることができ、これからは、そんな視点をもちながら様々な作品にふれるとともに、子供たちにも共有していきたいです。
- ・「おこだでませんように」どの子の心の中にも祈りのような思いがある。そんな子供達の心の動きや、祈りのような思いに気づける大人でありたいと考えさせられた絵本でした。大人の人こそぜひ読んで！
- ・思っていたよりもさっと涙腺にくる内容が多く、大きくなってから絵本を読むことの良さを感じました。
- ・想像力をふくらませることの素晴らしさを感じました。
- ・先生の絵本の世界観がこんなふうに広くつながっているとは驚きでした。また、想像しながら読みたいと思います。
- ・大人自身が「環境」であるというフレーズが印象に残っています。私たち大人がどう行動するかで子供がどう成長するのか変わっていくので、まずは大人が素直に生きなければと感じました。
- ・教育の根本的なところを改めて見つめ直すことができました。ありがとうございました。
- ・絵本を読むというのは文章だけでなく絵の方まで読みとくということを知り深いなと思いました。
- ・絵本のすごさについて知りました。絵本を読みたくなりました。
- ・作者の方本人に絵本のことをより詳しく解説していただけたので、メッセージ性があり面白かったです。
- ・くすのきさんの絵本に対する考え方にすごく感動しました。
- ・くすのきさんが書いた本はそれぞれが全く別の作品ではなく、相関関係となつてつながっていることを知って驚き感動しました。
- ・今まで知らなかったことをたくさん知ることができました。想像力を働かせることで、今までと違った見方ができておもしろいなと思いました。
- ・絵本は子供が読むものという固定概念がありましたが、高校生である私も、大人も読んでもいいんだと分ってこれからも絵本を楽しく読もうと思いました。
- ・素敵なお話を紹介していただいた。その紹介から大切なことを学んだ。
- ・本の作品の多さに驚きました。人を思いやる心を大切にしている事がすてきだと思いました。
- ・淡々とお話しされていたが心にひびきました。絵本を読んでもらって気持ちよかったです。

- ・文だけでなく絵からも読み取る楽しさを知りました。想像する力、共感する力の大切さも改めて感じることができました。それぞれの絵本のつながりにはビックリです。
- ・くすのき先生の講演2回目でした。とても良い機会でした。心地よい時間でした。
- ・作家さんの思いにふれていいなと思いました。いろんな本を読みたくなりました。
- ・絵本の素晴らしさに触れることができました。とても綺麗な気持ちになりました!
- ・絵本の楽しみ方が広がりました。障害の捉え方が、障害種別から社会的障壁へと転換していることを絵本を通して分かりやすく説明されていたのが印象的でした。
- ・共感できた。多様な時代に、自分はどのようにするのか考える機会になった。自信につながった。
- ・途中何故か涙が出そうになりました。自分が小さい頃母親からよく言われていたことを思い出しました。
- ・絵本の奥深さを知ることができ、人生が豊かになるような気がしました。
- ・直に作品の魅力が伝わってよかった。

### ③シンポジウム



- ・色々な立場からの色々なお話が聞けて楽しかったです。
- ・いろいろな立場の人が本に関わり、自分はどうしたら良いのかを思う気持ちが大切だなと思いました。
- ・質問の時間があって良かった。
- ・いろいろな経験をされてきた方々のお話が聞けて良かったです。学校にある図書室や図書館をもっと利用していきたいと思いました。
- ・一人一人の体験談や話を詳しく聞くことができ良かったです。自分も図書館を利用して、本に触れたいなと思いました。
- ・それぞれの本への思いや図書館への思いを知れたし、これからの本への向き合い方が変わりました。
- ・さまざまな意見を聞いて、視野が広がりました。
- ・シンポジストの皆さんの貴重なお話を聞けて良かったです。
- ・色々な意見をお聞きすることができさらに視野が広がりました。
- ・絵本の素晴らしさを強く感じました。今さらですが、いっぱい読んでみたくくなりました。
- ・「読み聞かせのコツ」は思うとおりにゆっくり、好きなように、という回答とても印象に残りました。
- ・図書館の力は大きいと実感しました。
- ・登壇者の方々から、それぞれの立場ならではの考え方や実情などを知れて良かったです。
- ・講演の余韻にひたりながら人の感想などを聞くことができ良かったです。
- ・司書さんや文庫の話聞いて参考になって良かった。



- ・みなさんのそれぞれの活動や、その思いを聞いて大変刺激になりました。今後の自分の活動に役立てたいです。
- ・気軽に話を聞くことができ楽しかったです。それぞれの視点からの意見が交わるのがとても興味深い体験でした。
- ・同じ講演を聞いているのに一人一人別の意見が出てくるのが面白かった。このような事に気づけてシンポジウムの良さを感じた。
- ・図書館には、司書が常にいて手渡しで貸出しすること、話ができることが必要であると思いました。
- ・それぞれの立場からお話が聞けて楽しく聞かせていただきました。が、テーマから想像した内容と少し違ったのが残念でした。
- ・それぞれの立場、見方での話は大変興味深かったです。
- ・色々な立場の方のお話が聞けて、とても楽しかったです。
- ・図書館のあり方、考え方がいろいろあることを知り、小さなことからの広がり、本に触れる場を考えていければと思いました。
- ・図書館の大事さについて考えさせられました。
- ・シンポジストが个性的でそれぞれ図書愛があって、とてもよいシンポジウムでした。
- ・旅先で地元の図書館に行くのが好きです。居心地の良い図書館には、後ろのスケジュールを変更しても居続けてしまいます。司書さんの力ですね。小出さんへ、私も映画観る前後原作読みます。2倍、3倍、10倍楽しいです。
- ・後藤さんの図書館屋魂を聞かせていただきました。こちら嬉しくなりました。読み聞かせは、誰が読んでくれたか、その時間を共有できたことを楽しむのが大切という話がうなずかされました。
- ・それぞれの立場から本や図書館、読書にまつわるお話しが聞けて大変興味深かったです。あっという間に過ぎた時間でした。もっと聞きたかったです。
- ・さまざまな立場から本と出会うこと、触れ合うことの良さを何うことができとても面白かったです。「図書館にいく」ことの大切さが何度も繰り返されていましたが、学校でも、家庭の問題等で本に対する興味を持っていない子がたくさんいます。だからこそ、学校図書館で本と子供をつなぐために何ができるか探っていきたいです。
- ・充実した時間でした。本の役割、本とつながる家族を再確認し、自分も何か発信したいと強く思いました。
- ・松原さん、くすのきしげのりさんの質問の時間を取っていただくなど、良い進行をありがとうございました。それぞれのシンポジストの方々思いを聞くことができ良かったです。
- ・最近本にふれていないので本を読む余裕をもちたいと思いました。図書館にも行きます。
- ・地域に根づいた文庫を運営されている「かんりん文庫」さんの活動がコミュニティづくりの参考になりました。
- ・文章だけでなく絵から読みとる事の大切さを改めて学ぶことができました。司書さんたちの熱い思いがすばらしかったです。
- ・子供たち、大人たち、たくさんの方が絵本・本にふれてもらえように声掛けしていきたいですね。色々なお話が聞けて良かったです。
- ・もっとお話をお伺いしたかったです。
- ・いろんな立場の方のお話を聴けてよかったです。くすのき先生の作品を仕上げるまでの思いも聴けて良かったです。
- ・図書館愛、本に対する思いをそれぞれの立場で聴けてよかったです。
- ・子供食堂がコミュニティの機能を有して人をひきつけるということに気づきはじめている人が多くなっているような気がします。それと同じように、本のある場所が単独でまた何かと、どこかとコラボしてコミュニティの機能を有するようになる可能性が多いにあると思いました。
- ・後藤さんのお話が面白かったです!

- ・本に関わる司書、文庫主催者、作家にプラスして高校生が登場していることに感動しました。登壇者の言葉で話を聞くと、声の力伝える力の大事さも分かりましたし、察する力、コミュニケーション力の大事さを実感しました。世代をこえてパネリストがいてくださってよかったです。
- ・図書館、学校図書館、本に触れること、読みたい本に出会える環境が大切だな、と思いました。
- ・御坊市立図書館の後藤さんの、利用者目線で日々取り組まれている姿勢に、御坊市立図書館の未来は明るいなあと思いました。
- ・くすのきさんの発言も、さすが元図書館員だなあと講演の時より興味深く聞かせていただきました。最後、図書館へ行こう！と締めくくられたのも良かったです！
- ・高校生の声をもっと聞きたかった。
- ・図書館司書や、文庫の方、高校生、作家の話も、聞いて良かった。
- ・とても和やかな雰囲気良かったです。
- ・とてもわかりやすかった。

#### 4 その他、お気づきの点がございましたらお書きください。

- ・場所が御坊市内付近であれば、もう少し参加者が多かったかも。多くの中高生にも参加して欲しかった。
- ・今日はありがとうございました。
- ・とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・読書活動や読み聞かせ、朗読について様々な大人の方に伝える機会を持っていますが、学校の先生方は「おこだでませんように」に涙し、地域の皆さんは「ふくびき」に涙してくれます。世の中の大人が日常の暮らしに追われて「思いやること」や「察すること」を忘れがちになってしまう現実の中で、実は誰もが子供に対してこんな温かさを持っているのだと感ずることが出来ます。絵本には、大人にもそんな気持ちを持っていることに気づかせる大きな力がある。そんなことを確信しながらこれからも楽しみ方を伝えていきたいと思ひます。
- ・絵本がつながっていた！←楽しい発見でした。片道2時間かけてきたかいがありました。ありがとうございました。
- ・『図書館の力は司書の力』は、その通りですが、司書さんがもっと活躍できるように司書さんを配置している行政の力にもっと期待したい。読書力43位は悲しすぎる。
- ・感動一杯のひとときでした。また参加したいと思ひます。
- ・実際に作者の方と本の世界をのぞけて、とても良い経験ができたと思ひます。これから更に読書を楽しめようと思ひます。
- ・とてもいい体験ができました。ありがとうございました。
- ・空席が多かったのが残念です・・・。内容が良かっただけに・・・。
- ・これからもどんどん有名な作家さんをお呼んでください。
- ・もっと多くの方々にきいてもらいたいと思ひました。
- ・読み聞かせで心が癒されました。とてもほっとできて良かったです。感動しました。絵本・本を通して想像する力、共感する力の大切さを伝えていけるようにしていきたいと思ひました。今日はありがとうございました。
- ・前向きになる時間を過ごせました。ありがとうございました。早く帰って読書します！！
- ・フォーラムも良かったです。日高川町ステキな町ですね。大満足の日を過ごしました。もう一泊するかも・・・。参加させていただいて本当にありがとうございました。
- ・くすのきしげのりさんをお呼んでくださってありがとうございました。非常に有意義な時間でした。
- ・くすのきしげのり先生の講演の中で共感する力、想像する力を物語ることができる作品を創作の中に重さを置かれていることがわかり良かったです。読み聞かせの際に大事に伝えていきたいと思ひました。
- ・多くの人に聞いてもらいたい内容でした。計画してくださった皆様、ありがとうございました。

- ・ホッとでき心豊かになりました。このすばらしい絵本の世界を子供たちと一緒に楽しみたいと思います。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・インターネット申し込みできているのか不安で問い合わせさせていただきました。お手数おかけしました。アンケート回答もQRあったのに気づきが遅くてすみません。
- ・会場が暑かった。
- ・特に講演は道徳の研修会にとって代わることができるような感じで、とてもよかったです。

## 【日高高校 JRC】

- ・めっちゃ緊張したけど進行役の方がきれいにまとめてくれて進行してくれたので頑張れました。
- ・本日は大きな舞台上で発表する機会をありがとうございました。良い経験となりました。ありがとうございました。
- ・今日はこのような貴重な機会をいただきありがとうございました。自分にとってすごく良い経験になりました。スタッフの方々にもたくさんサポートしていただきすごく助かりました。今日は本当にありがとうございました。

令和5年度 読書推進フォーラム  
ぞいてみよう、**本の世界!**

最近、本に  
出会ってますか…?

開催日時  
2023  
**10/15**  
SUN  
13:30~16:30

開催場所  
日高川交流センター  
(日高川町高津屋718-3)

オープニング  
「手作り紙芝居・絵本の読み聞かせ」  
日高高校JRCのみなさん

講演  
「作者と訪ねる作品の世界」  
児童文学作家 くすのきしげのり氏

シンポジウム  
「思い出の1ページ  
～本でつながった出会い、本で広がった世界～」

コーディネーター 松原 燈 氏(和歌山放送ラジオパーソナリティ)  
シンポジスト 後藤 貴志 氏(諏訪市立図書館司書)  
梅崎 百合子 氏(串本町潮畔かんりん文庫代表)  
小出 真矢 氏(日高高校JRC代表)  
コメントーター くすのきしげのり 氏